

エコ・ファーストの約束(更新書)

～環境先進企業としての地球環境保全の取組～

2022年10月31日

環境大臣 西村 明宏 殿

住友ゴム工業株式会社
代表取締役社長

山本 悟

1. 低炭素社会の構築に向けた取組を積極的に推進します。

- グループ全工場から排出される温室効果ガスをグローバルで2030年に2017年比で50%削減、2050年にはカーボンニュートラル達成(Scope 1+2)を目指します。
- 次世代エネルギー水素を活用して、2023年に製造時における「温室効果ガス排出ゼロタイヤ」の実現を目指します。
- 自社で製造する商品において、サステナブル原材料の採用拡大を通じてカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。

2. 循環型社会の形成に向けた取組を積極的に推進します。

- 国内・海外の関係会社を含む23の生産拠点において廃棄物の直接埋め立て量の「完全ゼロ」を2026年まで継続します。
国内・海外の関係会社を含む23の生産拠点において、2013年に廃棄物の直接埋め立て量を「ゼロ」にし、業界に先駆けて再資源化率100%を達成しました。引き続き2026年までこれらの拠点で「完全ゼロ」を継続します。

3. 自然との共生を進め、生物多様性保全に配慮した取組を推進します。

- 森づくりを通じた生物多様性の保全と地域との交流を行い自然との共生を推進します。
「住友ゴムGENKIの森」の整備と活動を通じた生物多様性の保全活動、絶滅危惧種の保護育成、および森づくりを通じた近隣社会との交流を積極的に推進します。
- 森林破壊ゼロによる天然ゴムの調達を行っていきます。
天然ゴムのサプライチェーンに「持続可能な天然ゴム方針」を浸透させ、森林破壊ゼロ、環境負荷低減に努めます。森林保護に関する全ての法令を遵守するとともに、健全に機能する自然生態系への自社のコミットメントに沿って、野焼き禁止、泥炭地の開発禁止、原生林・野生動物・水資源・土壌の保護に取り組みます。

住友ゴム工業株式会社は、上記取組の進捗状況を確認し、その結果についてホームページや統合報告書などで定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

